



# 2021（令和3）年度 町田市地域子育て相談センター活動報告

## はじめに

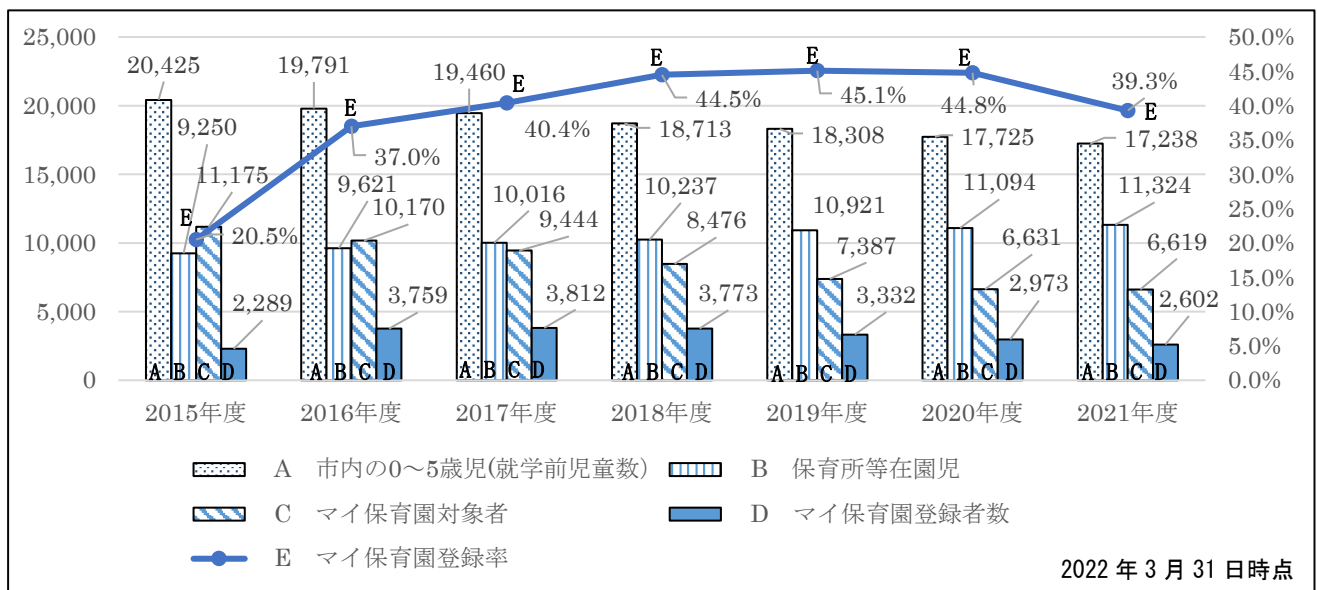
町田市地域子育て相談センター（以下「相談センター」という）では、「安心して楽しく子育てをするために地域全体での支援の充実を図る」ことを目的に子育て支援を行っています。

2021年度に取り組んだ事業から、マイ保育園事業、家庭訪問、親支援プログラム、相談センターの機能拡充について報告いたします。

## 1. マイ保育園事業について

相談センターの主要な業務の一つにマイ保育園事業があります。この事業は、所属先のない子どもとその保護者が、マイ保育園への登録をきっかけに外出し、親子のあそび場や育児の相談先として活用することで保護者の育児不安の軽減等を図ることを目的としています。

### <就学前児童数とマイ保育園登録状況の推移>



上記のグラフから、A：市内の0～5歳児（就学前児童数）の人口は、7年間で3,187人減少しています。一方で、B：保育園等在園児は毎年増え続け、7年間で2,074人増加し、2021年度は未就学児の65.7%が幼稚園・保育所等に所属しています。

就学前児童数の減少及び所属先のある子どもが多くなったことで、マイ保育園の対象者は年々減少しています。マイ保育園登録率は2018～2020年度まで45%前後を維持していましたが、2021年度は登録率が39.3%と減少しています。

登録率減少の理由として、多くのご家庭が、大人数が集まる場所を避けて、家の周りや公園などを遊び場として利用する等、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていることが、マイ保育園勧奨訪問等で会えたご家庭に育児状況を確認したことで分かりました。

## 2. 家庭訪問

### <マイ保育園勸奨訪問について>

生後 6 か月、転入家庭でマイ保育園登録をしていない家庭を訪問し、マイ保育園の事業内容、登録や利用の方法をお伝えし、近隣の保育園や子育て関連施設を紹介しています。また、保護者からの質問や育児のご相談に対応しています。今後も家庭訪問にて各園で感染予防対策を行いつつ事業を実施していることを伝え、あそび場や相談先として利用していただくきっかけとなるよう、市民周知を図っていきます。

### <潜在家庭調査訪問について>

マイ保育園勸奨訪問と合わせて潜在家庭調査訪問を行っています。

潜在家庭とは「相談先のない（相談できる者がいない）孤立した家庭」と定義しました。このような家庭の状況把握と必要に応じた支援に繋ぐことを目的とし、2019 年度からマイ保育園勸奨訪問以降も登録のない家庭に定期的に（生後 12 か月、24 か月、30 か月、転入後 8 か月、3・4・5 歳児）訪問を行っています。

これまでの調査実績を踏まえ、2022 年度からは生後 12 か月、24 か月、3・4・5 歳児を重点的に調査訪問の対象とします。今後も支援が必要な家庭に積極的に関わり、機関連携をしながら対応していきます。

### ※参考資料「2021 年度家庭訪問集計結果」

	訪問数 勸奨訪問：(2021年4.5.7.8 月アンケート送付数含む) 潜在調査訪問：( )内は 2021年4.5.7.8月手紙のみ 送付数	訪問の状況					訪問で会えた (アンケート返信) 後の 登録	不在（アンケート返信無し）後の 反応			対応	対応区分			
		会えた (アンケート 返信含む)	不在 (アンケート返信 なし含む)	拒否	居所不明	その他 (インター フォン等)		マイ保 登録	ひろばを 利用	電話		こんに ちは赤 ちゃん 会館	子家セン	単独訪問	その他
<b>勸奨訪問</b> 生後3か月 生後6か月 転入後2ヶ月	1,905	820	956	4	4	120	129	78	12	54	17	8	2	3	3
<b>潜在調査訪問</b> 生後12か月 24か月 30か月 転入後8ヶ月 3・4・5歳児	1,383 (538)	516	749	9	6	106	23	14	7	42	13	1	3	1	1

※新型コロナウイルス感染防止対策として 2021 年緊急事態宣言中（4、5、7、8 月）は家庭訪問の代替えとして、マイ保育園勸奨訪問家庭にアンケート、潜在家庭調査訪問家庭に相談案内の手紙を送付しました。

### 3. 親支援プログラムについて

保護者が子育ての具体的なスキルを学び、保護者同士がつながりをもつことで地域の子育て力の向上と虐待予防を図ることを目的に、相談センターの臨床心理士講座や、相談センターで受けた相談の統計表等をもとに町田市オリジナルのプログラムを作成し、2021年度から実施しました。

#### <2021年度親支援プログラム実施報告>

名称	赤ちゃんとのコミュニケーションを楽しもう ～ねんねの時期をみんなと共に～ (愛称:ふたばプログラム)	赤ちゃんとのコミュニケーションを楽しもう ～よちよちの時期をみんなと共に～ (愛称:つぼみプログラム)	子育てを楽しもう ～ほめる子育て～ (愛称:ひまわりプログラム)
ねらい	保護者同士が安心して話し合う中で、仲間をつくり子育て知識を持つことで、 育児不安の軽減と親子の愛着形成を促す		保護者が正しい子育て知識を持ち、親としてのスキルが向上することで、育児不安、育児負担の軽減を図る
日数	2時間の講座を3週連続で行なう	2時間の講座を3週連続で行なう	2時間の講座を4週連続で行なう
対象	2～5か月の第一子とその母親	6～11か月の第一子とその母親	1歳から就学前の子どもを持つ保護者
実施月	①2021年7月～8月 ②2021年11月	2021年9月	2022年1月～2月
場所	①忠生市民センター ②町田市民フォーラム	鶴川市民センター	町田市民フォーラム
保育	無(母子同室)		有(別室保育)
参加者	①6組 ②7組	8組	10組

ふたば・つぼみプログラムの参加者からは、「安心して毎回過ごすことができた」「人になかなか会えず、家にいると不安なことばかりで心配していたけど、同じ月齢のママたちと話ができ悩みは一緒なのだと分かった」「日頃、育児に対し思っていた事、悩んでいた事を声に出して話し、気持ちやすっきりした」「子どもとの触れ合い方や子育ての方法、自分自身のリラックスマethodなども知ることができ、とても良かった」「これなら家でもできると思った」等の感想がありました。

ひまわりプログラムでは、「10回中8回はほめる」「余裕をもってほめる」等、ほめることを実践していきたいとの感想や、「ほめると自分も嬉しくなった」「まだ怒ることも多いが、落ち着いて怒れるようになった」等、学んだことを実践し手ごたえを感じたという報告がありました。また「一人でじっくりと考える時間をもててよかった」「初めは泣いていたが回を追うごとに泣かなくなり子の成長を感じた」等、保育が親子にとってよい経験となったという声も聞かれました。

これらの感想から、プログラムのねらいでもある子育ての具体的なスキルを学ぶこと、保護者同士のつながりを持つことが、育児不安の軽減につながっていると考えられるため、2022年度も引き続き、親支援プログラムを実施していきます。

#### 4. 相談センターの機能拡充について

0歳～18歳までの子どもの居場所と相談支援機能を兼ねた切れ目のない支援の実現を目的とし、2021年7月12日、堺地域子育て相談センターが子どもセンターぱお内に、町田地域子育て相談センターが子どもセンターまあち内に、2022年5月9日には鶴川地域子育て相談センターが子どもセンターつるっこ内に移転しました。

堺・町田・鶴川地域の3センターは、土日祝日も開所し、相談対象を0歳～18歳までに拡充し子育ての相談対応を行っています。

発行：町田市地域子育て相談センター（町田市役所）  
2022年6月

